

川崎愛児園 さくら



2019. 9号

発行

社会福祉法人川崎愛児園
児童養護施設川崎愛児園
発行月 令和元年8月

住所

〒216-0035
神奈川県川崎市宮前区
馬絹1丁目24番5号
TEL: 044(855)2591
FAX: 044(865)4445
mail: kawasaki@aijien.or.jp

印刷

野崎印刷紙器株式会社



揺れる気持ち



理事長
野村 隆

日頃、川崎愛児園へ御支援御協力をいただいている皆様に改めて感謝申し上げます。

社会福祉法人川崎愛児園が運営する施設は児童養護施設川崎愛児園と児童養護施設白山愛児園を拠点として、地域小規模児童養護施設を4ヶ所、児童自立援助ホームを1ヶ所、児童家庭支援センターを2ヶ所で、在園している児童は2019年3月末で98人となっています。

いずれの施設においても職員は懸命に子どもたちの養育にあたっており、良好な環境のもと健全な養育ができていくことを嬉しく思います。

子どもを巻き込んだ事件が各地で生じております。被害者の方々には御冥福を祈り、またお見舞い申し上げます。

安全を確保するためには設備と人による対処を緊急に考えますが、背景には社会現象の課題があり、原因を解明し、発生を皆無とすることは困難です。

事件の度に情報共有の際に指摘されます。気づいているのに気づかないふりをしていく感じもします。

規制と自由、差別と区別、健常と障がいの境界が議論されますが、偏見を助長することがないような対応を願っています。

今年も朝顔の種を自宅に撒きました。昨年は芽を出した双葉全てを成長させ、網に這わせて蔓を伸ばさせました。夏が終わっても花をつけなかったもの、小さな花を咲かせ小さな種をつけ



て枯れた蔓もありました。

種を全部採取し、保存し、梅雨の間に撒きました。翌日に芽を出した種がある一方で2週間経っても芽を出さない種がありました。今年は弱々しい葉を取り除いて、勢いのある双葉を移植しようと雨上がりを待っていました。一日後に昨日まで弱っていた芽が勢いを増し、芽を出していなかった種も芽を出していました。今年も間引きするのを止めました。種苗業者であれば種を選別し、立派な花を咲かせ種だけを残し、また芽のうちに苗の選別をするでしょう。

この論理を人間に適用する人達がいいます。環境心身の条件だけでなく国籍宗教思想の違いで選別しようとしています。

人間の命は平等です。全ての命を大切にすることを大切にしたいと思います。

子ども達が健全な社会生活を送れるよう自立することに力を尽くすと共に職員の働く環境を整えてまいります。

これからも川崎愛児園への御支援、御協力、御指導をお願い致します。

広報誌第9号に寄せて



施設長
白 戸 隆

年に一度の広報誌が出来上がりました。日頃からご支援ご理解をいただいているみな様に感謝の気持ちを込めてお届けしたいと思っております。

ここで生活する子どもたちも次々に社会に出て頑張っています。どんな人も苦勞はつきものですが、そのことを乗り越えるだけの力が必要で、そして出会う人の支えや出会いそのものが前向きに生きる力になっていると思えます。また、支えて下さる方の存在も、ここにいる間にできるだけ伝え社会に送り出したいと思っています。

施設で生活する子どもも、地域で黄色信号の子ども家庭、さらに地域での生活を豊かにするような取り組みをみなさんと一緒にできたらと考えております。職員もこのような意識込みであります。今年度中には一歩前へ進めていく予定ですので、地域の方々、ボランティアの方々、そしてご支援してくださる方々の更なるご協力をお願いいたします。

川崎愛児園の取り組み

事務長 西川 明秀

平素より当施設への深いご理解を頂き、皆様には大変有難く感謝申し上げます。

年号が令和に変わった今年度は、「新しい社会的養育ビジョン」を受けて、家庭的養護推進計画の見直しに向けた準備や検討を川崎市と共に進めていきますが、児童養護施設にとって大きな変革の始まり年となります。

川崎愛児園では、計画を支える人材の確保・育成、新たな事業展開の検討、地域貢献事業の実施などの取り組みを推進し、今いる職員一人一人の能力を結集して推進します。

昨年度より「川崎愛児園地域協議会」を発足し、参加された地域の方々から貴重な意見を頂き、当法人の事業への協力、情報発信の場としての役割を果たしております。

また、「ボランティア協議会」を開催して子どもに対する思いや活動をする中での疑問などをボランティアの方々と共有して今後の活動に繋げる機会を持つことができました。

地域の方々の連携強化については今年度も引き続き継続して行っております。

地域における公益的取組みについては、子どもたちの生活・学習支援事業「すえっ子広場」を久末地区にて行っておりますが、児童養護施設で積み上げてきた実績とノウハウや専門性を生かして、川崎愛児園独自の子どもたちの居場所づくり事業を検討しておりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

法人の基本理念

当法人は命の尊さを大切に、愛情をもって社会福祉事業を効果的かつ適正に行い、地域社会への貢献に努めます。また、地域社会の中で「将来を担う子どもたちへ」の質の高い養育及び子育て支援を目指します。さらに、事業経営の透明性と健全な経営を目指します。

「命を大切にすること」

「地域の中で養育と子育て支援」

「健全な経営」

施設の基本方針

児童一人ひとりが命を大切にすることをもち、心身ともに健康で調和のとれた人間として成長し、健全な社会人として自立した社会生活が営めるよう支援します。また、施設機能の専門性を活かし地域社会に協力します。

1. 一人ひとりの心身の成長に努めます
2. 一人ひとりの尊厳を維持し人権を擁護します
3. 一人ひとりの幸福のために支援します
4. 自立した社会生活が営めるように支援します
5. 施設の社会的、専門的役割を果たします

養護の目標

社会的養護を必要とする入所児童に対しての基本目標は次の通りです。

1. あいさつの正しくできる人に
2. 健康な体と心をもてる人に
3. 人に好かれ、社会に役立つ人に
4. 感謝の気持ちをもてる人に
5. 人との調和がとれる人に
6. 思いやりのある人に
7. 基本的な生活や自立した生活ができる人に

さらなる躍進へ！



川崎愛児園 監事 落合 文雄

当法人の監事を拝命してから20年となりました。平成の時代の中頃、法人経営が危機に陥ったこともありました。幸い志ある方々の努力と人材の登用等で地に足が着いたV字回復をし、その後、拠点となる施設の倍増、人材も100

人規模と着実な児童支援法人に成長しました。また、もう一人の先任の監事、西迫一郎氏とタイアップさせていただいた幸運に恵まれ、未熟な私も微力を尽くすことができました。児童支援を目指す法人の立ち直りから14年を経て、若手の職員を主力とし、事業計画の確実な達成や健全な財務活動、新たな子どもへの貧困課題への取り組み等川崎市民の期待に込める法人の面目躍如の感があります。

しかし、子どもが巻き添えとなる不幸な事件、事故が大都市で多発しております。社会的貧困も深刻化しています。児童養護の専門機能を持つ当法人への新たな役割を期待する行政や市民の声は益々高まるのが予想されます。次なる法人事業の展開、拡充を図る準備を若い職員がチームを組み、失敗を恐れず実践化すべき時期にあります。

ある先進法人では毎年事業所ごとに課題を選び、チームを作り1年間改善・創設に取り組み、成果を発表して4年継続しています。職員一人一人が経営者感覚を持っています。サービスのコスト計算もしています。

さて、私ごとで恐縮です。職員や子ども達から応援していただいた孫の「久保健英」は再度スペインに渡ります。不安と孤独のなかでの新たなチャレンジ。自分の運命を自分で切り開くことがどこまでできるか。未知の冒険ですが、愛児園の子ども達はみなそうやって巣立っていったことでしょうか。旅立ちも間近なようです。

夏も本番、皆様のご自愛を祈ります。



理事就任にあたって



川崎愛児園 理事 都倉 準一

このたび、理事に就任しました都倉準一です。微力ですが、地元馬絹町内会の代表として職務に取り組んでまいりますのでよろしくお願ひします。

さて、理事就任にあたり、町内会としてどのように取り組むべきかと改めて考えましたが、何も特別に難しく考えることはないのではないか、今までと変わらない関係を維持できるように努めることが大切なのではないかと考えた次第です。というのも、川崎愛児園が現在の場所に設立されて以来、既に長きにわたる歴史があります。その間には、様々な関係者の皆さまのたいへんなご尽力があり、そのお陰によりまして、地域に根ざした現在のすばらしい環境が築かれているのだと感じているからです。

特に私は、馬絹町内会の中でも平台地区の副会長であり、平台地区はまさに川崎愛児園がある場所です。馬絹という地名は古くからありますが、平台地区は川崎愛児園前の道路(小台との境)から246バイパスに向かい泉福寺の手前あたりまでで尻手黒川線と旧246号線に挟まれた地域をいい、住居表示では馬絹1丁目と2丁目の少しの地域となります。平台については次のような話があります。尻手黒川線からパチンコ店の横を入ると平台庚申様という社が祀られています。これは今から約300年前の昔、この村に悪疫が流行し村人が非常に苦しんだことがあり、これに対して講中の人が力を合わせて村の入口に庚申様と観音様をお祀りして病魔の侵入を防ぎ、退散を祈願したということです。そして、平成元年に古くなった社を新築し、その30年後の令和元年5月、鳥居と記念碑を建立しました。これも、平台に昔から住んでいる方々がこの地域の安全と発展を願ったことであり、この思いは現在も脈々と続いているのです。私もこの思いを忘れずに、この地域に住まわれ、またこの地域に縁ある方々の安寧を願い、理事職に取り組んでいきたいと考えています。



昔、児童指導員だった

川崎愛児園 評議員 伊藤 陽一

川崎愛児園の関係者の皆様、地域の皆様、私は十文字学園女子大学人間福祉学科に所属しております伊藤陽一と申します。大変つたないですが評議員をやらせて頂いております。現在の勤務先は、保育士資格と社会福祉士受験資格を取得できる大学で、社会的養護と子ども家庭福祉の科目等を学生に伝えております。以前は、児童養護施設と保育所に勤務しておりました。

昔話をさせて頂くと、私も横浜の児童養護施設で勤務していました。その当時、勤務していた施設は大変荒れていまして、毎晩のように無外捜査(無断外泊の子どもを探すこと)を行って一晩中街を回り、そのまま通常勤務をして疲弊しておりました。不適応の子どもを追いかけたりばかりでしたので、安定している子ども段々と荒れてきて、新たに夜、施設を抜け出すようになります。当時の私は子どもの精神活動をまったくいまいど理解してないため先の見えない状態、永遠に続く暗いトンネルの中を歩いているようでした。恵まれていたと思えるのが、一人で歩いていなかったこと、同僚と一緒に歩いていただけでした。しかしながら、この同僚たちも疲弊し、一人また一人と辞めていきます。やがて私も施設を去る決断をします。施設を去る日、挨拶をして建物を出ようとした際に、一番手のかかる私との冷戦や言い争いを繰り返す中、3年女子児童が、泣きながら「先生行かないでー」「頼むからおいていかないでー」と後を追いかけてしがみつきます。このことより、社会的養護を担う専門職の養成と育成が、私のライフワークとなるのでした。

現在の児童養護施設・社会的養護を取り巻く環境、そして、子どもに関しての見方は、「児童の権利に関する条約」に批准したことにより大きく深まりました。すなわち、「子どもの最善の利益」に則した、生活場面の安定、安心・安全な居場所づくり、切れ目のない支援の継続(子どもの心のケア・家族再統合・自立支援)、地域社会等への積極的な参加の養育を行うこと、さらに退所後はひとりりで生活することを意識した取り組みを行うことが必要で、これらを行う「職員」の最善の利益を保証することが、「子どもの最善の利益」になると考えます。

職員の方々が子どもたち一人ひとりを支えるように、職員の方々が気持ちよくお仕事が出来るように微力ながらお力になりたいと考えております。



授業風景

令和元年度 ご寄附者様一覧

日頃よりご支援・ご協力いただきまして、ありがとうございます。

尚、一部お名前が分からず姓のみとさせていただいている方もいらっしゃいますがご了承下さい
またお名前に誤字脱字等ございましたら、ご一報・ご指摘下さい(順不同・敬称省略)。

個人 … 手塚勝也 太内義明 菊池哲夫 瓜田緑 平岡康子 平田喜一郎 嘉山兼則 木内賢一 柴田弘之 和美 戸石浩司・陽子 上原久典・経代 平林茂 中田純一郎・めぐみ 落合文雄 小島喜芳 青山光征・良子 石川誠・洋子 伊崎暉子 安藤高久 田中洋子 目代由美子 松本良保・馨子 北川智子 佐々木裕子 山川洋子 近藤智恵 吉田薫 幸山真理子 宇田川恵子 織茂耕治 中神智美 加藤信二 瀧澤祐子 中村布佐子 住職・安藤秀岳 友松祥之介・利英子 浅岡栄 福井文治 三宅寛 渡辺俊子 青木隆 小宮山康生 藤田奈保子 吉原保昭 眞田恵子 山川きよ子 大川原美樹 工藤淑子 鈴木政明・雅代 嘉山純子 竹内綾 田辺国治 立原希哲 市川洋子 中田由紀子 片岡サカエ 秋岡正男 石川純子 飯島正之 岩崎輝子 栗山恵吉 宮城久美子 佐野悦雄 長澤義浩 森正俊 本川由香 伊地知洋 長澤安記 道岡鮎子 杉野綾子 武蔵澄子 堀富博 上地雄輔 柏崎恵美子 松本由紀子 中村剛也 岡嶋弘 小西山香菜子 瀬川成男 小沼麗子 平野明会町会長 加登直代志 須藤敦子 井上智恵子 出口賢道 中田綾子 岡田広介 渡辺欣哉 有馬療養温泉 安岡重高 武井明 西中山あすか 岡田美智子 芹田加代子 小関博之 吾妻具和 中野徹 寺澤宣法 渡部裕美 藤木淑子 福世明子 浅野弘毅 藤田友子 重谷智香子 稲田美栄 志村俊彦 清水新一 植田優 田中章暁 民生委員 安藤詳一 佐藤慎一 青木寅治 田中知佐江 黒田尚代 石井根子 梅本真貴 加藤奈津美 谷山徳法 矢城協子 飯島由里子 神道麻貴子 中島紀夫 大木直美 山本周子 佐藤良勝 茶谷聖美 山田真弓 広瀬綱子 垣谷江里子 坂井マサミ 長岡いずみ 佐々木ちえ子 加瀬加代子 白鳥幸子 勝野由美子 丸山次夫 萩田強 安岡正則 セルマ中村 森岡りく 宮城みづえ 津崎一郎 藤谷裕美 大橋由利 平井幸 篠田フミ 齋藤孝 安藤千恵子 平出由貴 瀬戸由美子 大家佳子 中村悦子 安藤あゆ子 久家洋子 本白廣海 吉満史代 野田愛子 森井泰子 宮内恵子 横田晴子 吉田キヨ子 土屋敏子 難波裕子 佐々木あや子 矢谷静子 五十嵐隆一 木村三由紀 木村育代 橋浦順子 山本淑子 林崎良子 宮原つとし 根本聡子 高木幸子 吉田章子 田邊聖子 大塚宏之・和枝 小林航也 宇田敏彦 原英子 片山美夜子 一戸淑子 林文子 岡田英美子 濱田阿佐美 高宮悟 内田塔子 井上高 佐々木博美 垣野友章 大川ミサ 風見大貴 上田あかね 佐々木豊子 灰谷みささ たけたにちほみ 東條翔太 細川朋美 恩田久直央 伊藤啓子 久保田米子 浜崎利恵子 小嶋明子 富澤寛子 中村俊彦 三井和木 門司一徹 近藤由美子 田島愛子 大友千恵子 森田幸子 橋本文子 内田富士子 齊藤雅子 八木こづえ 松菜美枝子 松井美帆 鈴木陽子 永山一成 橋浦順子 水口 長谷川 新井 田中 橋本 横井 山下 岡谷 池田 匿名多数

団体 … 川崎市 川崎市社会福祉協議会 神奈川福祉事業協会 こども元気!内科クリニック セブンイレブン新川崎店 読売新聞川崎読売会 毎日新聞東京社会事業団 大和リース 三菱ふそう労働組合本社支部 (株)朝日ホーム 紫虹会少年部 ルミエル小児歯科 川崎富士見ライオンズクラブ 日本乳化剤(株) ヒラノ商事(株) 宮崎小学校校長・教員 (株)ワコーエンジニアリング (株)シュガーレディー本社 (株)カレンズ 北信土建(株) (株)チュチュアンナ ガイア川崎店 ガイアらくらく館 京セラ 宮前平寮 青木萬古商店 (株)ファー・イースト・ネットワーク 井上ラジオ 吉木野川店 リ・ケア福祉サービス ぶちらるじゅ会 宮前平医院 特別養護老人ホーム等々カ 玉川高島屋 初山幼稚園 Curves(川崎鷺沼店・川崎宮崎台店・センター北店・センター南店・ダイエー向ヶ丘店・モアナイス上小田中店・横浜吉野町店・横浜綱島店・港北新羽店・すすき野とうきゅう店・麻生百合丘店・溝の口店・稲田堤店・市ヶ尾店) 日本鏡餅組合 (株)サニクリーン東京 (株)エヌアセット 一般財団法人チャイルドワン 田園調布雙葉学園 中学高等学校エリザベット会 三橋園 遠藤環衛(株) (株)ライオン事務器 神奈川トヨタ自動車(株) こどものいもも保育園 フィリッパモリスジャパン(株) (株)宮前関口電機 代表取締役 近藤淳一 川崎市歯科医師会 城南信用金庫宮前平支店 支店長 光英正史 川崎市馬網郵便局 川崎野川郵便局局長小泉明 ワールドメイト (社)神奈川県養豚協会会長 山口昌興 小味山電気管理事務所 ショップランド 丸井川崎店 (株)ドリマックス・テレビジョン(ドラマ本部) (株)しむら 内海哲也ランドセル基金運営事務局 NKKシームレス鋼管(株) クボタ眼科 奥野設計 (株)エルプラス (株)ガイアフィール(株) 東芝労働組合小向支部 東芝労働組合本社 コストコ東急東横店(株) 一般社団法人神奈川県馬主協会 (株)UYEKI (株)伊藤園神奈川西地区営業推進課 東京電力常備労働組合 高津看護専門学校学生会 たいまつ食品 東急百貨店グループ労働組合 グリーンハイツ手づくりの会 十文字学園女子大学人間生活学部幼児教育学部 ガスカジパンクアウテモック NPO法人RISE JAPAN (株)茂園食品 東京福祉大学リハビリホームくらら鷺沼 日本農産工業株式会社 カネコ文具店 東洋大学 梅原農園 (有)ウエハラ新聞館宮前平サービスセンター 認定特定非営利活動法人ハッピーステップス (公)社全日本不動産協会川崎支部 春日山部屋 東京医療専門学校 鶴見大学短期大学部 浜友観光(株) 総務課 伊藤秀和 水上学園 トイザらス (株)大和人 高志保博孝 (株)プレナス小野頭 ミサワホーム(株) 宮前グリーンハイツ自治会 あいおいニッセイ同和損害保険(株)MS&ADゆにぞんスマイルクラブ 日本出版販売(株) 楽天(株)楽天サンタプロジェクト アーバンロケサービズ 一般社団法人川崎地域自治研究センター (株)アパマンショップネットワーク 明治安田生命保険相互会社 神奈川県運動員協同組合 宮前区社会福祉協議会 宮前区第3地区社協 神奈川県社会福祉協議会 日能研 全国チャンメリー共同組合 横浜西ロータリークラブ ジャップジャパン(株)コーポレートコミュニケーションズ 一般社団法人日本児童文芸家協会理事長 矢部美智代 元型物語寄贈プロジェクト事務局 久坂七々 日蓮宗親道山慈照寺 常業寺 (株)ajetjapan代表取締役長澤健太 東芝セキュリティ(株)芳賀淳一 株式会社プレナス田中健司 岡本専社長 松本亮平 株式会社日本教文社 株式会社ハイパーフィットネス代表取締役 田田政幸 宮前区更生保護女性会 オシャレ工房KBN株式会社代表取締役 齊藤越嶋 ファンケル化粧品 オリモファーム カンガルー宮前子育てなっとうわーく 岡田会計 岡田玲子 大学不動産連盟 (株)クレヨンハウスmorimotoプロジェクト 日本フィルムニッピ(株) ムーンパット プレム・ラウト日本事務局合同会社 文屋代表 木下豊 株式会社三菱東京UFJ銀行鷺沼支店 高津ネットあつがる溝の口 NPO法人NGOフク21ふらっとホーム グランフィードカントリークラブ代表杉山孝 読売センター川崎駅前所長 酒井通雄 (株)富留屋古賀音庵取締役専務 大堀裕一 宮前警察署生活安全課 (有)フルーツガーデン関本 関本典子 東京サンライズ(株)本多利彦 有馬鷺沼地区社会福祉協議会会長 福田照 鷺沼小学校PTA 柿生駅前ファミリー園 川崎マツダ花野一平 そめや内科クリニック 全日本不動産協会神奈川県本部川崎支部 日本トラスティサービス信託銀行(株) 社会福祉法人神奈川県共同募金 関東アイスクリーム協会 川崎労働者福祉協議会事務局 成田仁 アサヒ飲料株式会社 (株)公益社たまたまプラザ会館 白須 一般社団法人川崎青年会議所 向ヶ丘第五次自治会 (株)セレミアあつがる 公益財団法人 報知社会福祉事業団 オメガクリエティブデザイン(株)中村薫 (有)紀の国商店ゆーたんのほった代表取締役 新谷優樹

その他 … 愛児園祭りバザー一品寄附: 沢山の皆様のご協力に感謝申し上げます。

本園だより

つぼみ

つぼみ

つぼみユニットは小学生2名・年長2名・年中2名・年少1名の7名での生活がスタートしました。つ



ぼみユニットは「楽しく食事をする」を目標に季節の食材や誕生日の特別メニュー、和やかな食卓づくりに力をいれていきます。

顔を合わせて一日の出来事を話しながら楽しい食事場面・期待を持てる献立で作成をし、みんなで楽しかったこと、頑張ったことを共有できるユニットを目指していきます。

わかば

わかばユニットは小学生3名・年長・2名・年中1名・年少1名の7名での生活がスタートしました。わかばユニットは「思いやりを大切にする」を目標に、相手の素敵なところ、頑張っているところ、出来た事を一緒に褒めて自分の事のように喜べるユニットにしていきたくと考えています。日常生活の中で初めての体験をたくさん積みながらみんなで支え合えるよう生活していきたいと思



わんぱく

わんぱく

わんぱくユニットは今年度から小学校2年生を1名新たに迎え、小学生2名、中学生3名、高校生2名の7名で生活しています。



新たに中学生になった児童は部活動に励み、地域に出た一輪車やピアノの習い事を始めようとする児童もいます。

児童らには、施設の生活を通して、地域の取り組みや活動に参加することによって、地域社会で生きる術を学んでいく欲しいと思っています。

また、今年度退所を迎える児童もいます。今年もみんなで一丸となって楽しい思い出や記憶に残る出来事を実施していき

すずらん

すずらんユニットは小学生1名、中学生1名、高校生4名の6名で生活しています。普段は高校生も多くアルバイト等ですが、なかなか生活時間が合わないですが、以前よりも思いやりをもって生活ができています。感じていきます。



あおば

あおば

あおばユニットでは現在小学4年生1名、5年生1名、6年生1名、中学1年生1名、2年生1名、3年生2名、高校2年生1名の計8名で生活しています。



今年度新たに幼児ユニットから3年生の子が新しく来ました。生活の雰囲気が大きく変わりますが新しい環境に早く慣れるように職員も支えながら生活しています。

中学生は卓球部や美術部に入っており、日々頑張る姿が見え大会で活躍する姿もありました。小学生は地域の野球クラブに通っている子もいて、毎週土日は練習に励んでいます。

毎日、みんなで楽しく過ごしながらもやるべき事はしっかりと行い、補い合うそんなやり取りや思いやりのある生活が出来るように日々支援して

ふたば

ふたばユニットでは小学3年生1名、4年生1名、5年生1名、中学1年生1名、高校2年生1名、3年生1名、専門学校生1名と計7名で生活しています。



小学生は野球の習い事、中学生は塾や部活動、高校生や専門学校生はアルバイトや部活動等に日々頑張っている姿が見えます。卓球の習い事している高校生は週5日の部活と部活動の後にクラブチームに行き美力の向上に向けて練習に励んでいます。

高校生がアルバイトのない日はみんなで一緒にゲームをして楽しく過ごしています。頑張る子どもたちを支えながらも、楽しく、思い出に残る生活を作れるように日々支援しています。

フォトギャラリー

園生活

毎週絵本読みのコスモス文庫さんが来てくれます。貸出しの絵本を楽しみにしています！
晴れている日は公園に行ったり、屋上でシャボン玉やコンピカー等で遊んで楽しんでいます♪

合同で筍掘りに行って来ました！昨年筍掘を経験した子どもは上達していました！採れたては特に美味しかったです☆彡



男の子も調理に興味がある子が多く、職員の手伝いをよくしてくれます！おやつ作りも手慣れたものです♪

近くの公園に遊びに行ったり、自転車に乗れるように特訓しています。日頃から女の子は調理の手伝いをよくしてくれます！

ホームだより

地域小規模児童養護施設 つくしホーム

つくしホームは4月に高校2年生の女の子を迎え、現在小学生1名、中学生1名、高校生3名の5名で男女混合のホーム生活をしています。

年齢の幅と、性格はバラバラですが身近な遊びを通して、一つの共有体験をたくさんしています！洗車や土いじりしながらの水遊びや記憶力お絵かき大会など毎日たくさん笑っています☆



職員の4名中3名が変わり、ホームに新しい風が吹き始めました。笑顔が溢れる家庭のような環境づくりを目指して、小さなことに気付き、子どもたちを支えながらみんなで楽しく暮らしていきます！

地域小規模児童養護施設 野矢すみれホーム

令和という新しい年になり、小学4年生、中学1年生、3年生、高校2年生、高校3年生と、中学生が多い計5名で本当のきょうだいのように仲良く生活しています。

ホーム内ではプランターで野菜や果物を育て、近所の公園へ虫を観に行ったり、荀堀りへ出かけたり、七夕の飾りをみんなで作って過ごしています。また、地域の活動にも参加し、季節に合わせて行事を共有体験の場を通して楽しんで過ごしています。



個人のチャレンジとしては、自転車練習を頑張ったり、部活に勉強、アルバイトに精を出して過ごしています。今年度退所予定の子どもも自立に向けての準備中！地域の方々の力を借りつつ、感謝の気持ちを忘れずに、子ども職員も元気に楽しく安心して過ごしていきたいと思っています。

地域小規模児童養護施設 お母のやめホーム

小学3年生、中学1年生、3年生、高校1年生、高校3年生が2名の女の子ばかり計6名でのスタートとなりました。今年度も映画やカラオケ、BBQやボーリングやディズニールランドなど楽しい思い出の場が沢山控えていて子ども達も今から楽しみにしています。

進路を考えていかななくてはいけない子ども達もいますが、沢山の情報提供をし、悔いのないように進路を考えていきます。

職員4名、子ども6名、お互いに相手の事を思いやり、皆が笑顔で過ごせるホームを皆で作りに上げていきたいと思えます。



自立援助ホーム 大志

自立援助ホームとは、なんらかの理由で家庭にいられなくなり、働かざるを得なくなった原則として15歳から20歳（最大22歳）までの青少年達に暮らしの場を与える施設です。

今まで川崎区にあったホームですが、今年度より麻生区の柿生駅徒歩2分の場所に移転して新たなスタートを切りました。駅も近く、通勤や通学に便利になりました。

定員は男女混合6名で、現在は専門学校に通う21歳女児、4年制大学に通う19歳女児、定時制高校に通う18歳女児、定時制高校に通う17歳男児、定時制高校に通う16歳男児、通信制高校に通う16歳女児の6名が生活しています。アルバイトをしながら卒業を目指して頑張っています。



子ども集会

毎月の子ども集会では園生活のルールや子どもの権利について、子ども達がやりたいことを話し合う場としています。園周辺の地域の安全マップ作りや誕生月の子の誕生日会もやっています！また、子ども達や職員の良いことを投票する「いいこと募金」も始めました！



農園

毎週子ども達と職員が分担して梅原農園さんの畑に行き、草むしりや水やりをして、実っている野菜の収穫をしています！自分達で育てた野菜を採れたのうちに調理して美味しくいただいています♪



まぎぬ児童家庭支援センターの活動内容

「ふれあいカフェ桃花」



愛児園は宮前第3地区社協が主催する「高齢者カフェ」に参加し、児童家庭支援センターのスタッフもボランティアとして協力しています。8月と12月に当園の地域交流スペースを会場にして、地域のおじいさんおばあさんと愛児園の子ども達が交流をしました。子ども達が踊りを披露したり、一緒に工作をしたり、おやつを食べたりと楽しい時間を過ごしました。普段は高齢の方とお話しをする機会が少ない子ども達です。おじいさんおばあさんから優しく言葉をかけてもらったり褒めてもらったりと子ども達もニコニコ嬉しい気分になりました。参加された方やボランティアの皆さんも楽しい時間を過ごすことができました。地域に住む一員としていろいろと機会を持ちみなさんと交流していきたいと思ひます。



「親子カフェ」



今年度は地域の子育て中の保護者の皆さんに集まっていただく機会として「親子カフェ」を継続的に開催することが出来ました。親子カフェでは様々な講師の方にご協力いただき、アロマオイルを使ったハーバリウムやマッサージクリーム作り、ベビーマッサージなど色々な企画を実施中です。また、イベントの際には児童家庭支援センターの相談員も一緒に参加していますので、子育てでお困りの事があれば相談をすることもできます。



今後もお子さんと保護者の方が一緒に楽しめるイベントや、お子さんは別室で遊んでいただきながらお母さんだけのリラックスタイムを持っていただけるようなイベントなど随時開催予定です。子育て中のお母さんたちが出かけて、他の保護者との情報交換をしたり、集まった中で日常的な会話をしたり、困りごとを共有できるような場をつくり子育て世帯を応援していきたいと考えています。

ボランティア紹介



子どもたちの心が自立する日まで

松本 亜鐘様

「親と離れて暮らす子どもたちがどうか幸せになってほしい」という思いだけで始めたボランティアですが、いつの間

にか10年目となりました。

週末に数時間、幼児クラスの子どもたちと遊ぶという、たったそれだけのボランティアですが、当時幼児さんだった子が中学生まで成長した姿を見たり、当時のことを子どもが覚えてくれたり、直接遊ぶ機会の無かった子どもが顔を合わせたり、「私があかねなので」お金〜!〜と呼んでくれたり、歳を教えたなら「おばさんじゃん!〜」と言って、私が嫌がっているのを楽しみながら「おばさん!〜」と安心して呼ぶ姿を見ると、「これが長く続けることの醍醐味なんだな」と、嬉しく感じます。

ただ、長く続けていると子どもたちの成長が見える分、ボランティアという関わり方では子どもたちの生活のほんの一部、卒園までしか見守ってあげることができないもどかしさを感じるようになりました。

「子どもたちとより深く関わり、一生を見守っていききたい」「園を卒業したらこの子たちはどうなってしまうのだろうか...」など、子どもたちの背景にある社会問題や生活環境にも興味が高くなるようになり、数年前から、退所後の子どもたちを支援する機関でもボランティアを始め、昨年秋には念願の里親認定も受けることができました。

里親としては、まだ3件の緊急一時保護と3回のレスパイト預かりのみの経験ですが、その経験が、より深い愛情を持って愛児園の子どもたちと接することにつながり、里親とボランティアの相乗効果も実感しているところです。

幼児さんだった子たちが成長し、いつか園を卒業しても、本当の意味で心が自立できる日まで(もちろん自立した後も、そして自立できなければできないでも)ずっと繋がりを持っていたらな...。そんなことを思いながら、子どもたちとの関わりが単純に自分の悦びとなっているので、これからも長く長く、ボランティアを続けていけたらと思っています!



JA農園「農園で野菜作り」



花つきキュウリ



ジャガイモ



ミニトマト



ナス

愛児園から歩いて5分、JAセレサ川崎さんが運営する「あぐりっこ農園」の一面を昨年秋よりお借りしています。園主は以前から野菜のご寄付を下さっていた梅原さん。農園でお会いするとアドバイスをくださいます。
冬には白菜・ブロッコリー・大根など、夏にはキュウリ・トウモロコシ・トマトなどを無農薬で育てています。草むしりは大変だけど、収穫するときはみんな笑顔！安全でおいしい野菜を食べて子どもたちも元氣いっぱいです。



園主の梅原さん

来たる

川崎愛児園祭りのお知らせ

令和元年 10月20日(日)

10:00 ~ 14:00

毎年恒例の愛児園祭りを開催いたします!!

川崎愛児園ではバザーの提供品の募集をしております。

ご提供していただく品物に決まりはありませんが、未使用品とさせていただきます。

ご提供いただける場合は、おそれ入りますが10月17日(木)までに直接川崎愛児園に品物をお持ちいただければ幸いです。毎年多くの方々に品物を頂いて盛況に行うことができいております。

今年もご協力いただけますようお願いいたします。

H30年度 文体行事・作品展のご報告

● 絵画の部 銅賞……Mさん
● 書道の部 銅賞……Kさん

● 神奈川県民共済生活協同組合理事長賞
● 手芸の部 銀賞……Nさん
● 工芸の部 銅賞……Yくん

あすなろ作品展

● 小学生男子2.4kmの部……Tくん 3位
● 小学生女子2.4kmの部……Nさん 準優勝
● 男性職員8kmの部……Kさん 準優勝

送別マラソン

● 団体戦 男子の部……5位入賞
● 団体戦 女子の部……7位入賞

駅伝大会

● 男性職員の部 ……Tさん 3位

● 小学生女子の部 ……Kさん 優勝
● 高校生女子の部 ……Mさん 準優勝
● 女性職員の部 ……Fさん 優勝(2連覇)

卓球大会



年間行事

4月

お花見&BBQ、
入学式・入園式

5月

こどもの日
(市長・市社協
会長来園)

6月

卓球大会

7月

七夕会
幼児キャンプ
小学生
キャンプ

8月

野球・
ソフトボール大会
中高生キャンプ
水泳大会

11月

七五三お参り
駅伝大会

10月

愛児園まつり
ハロウィン
パーティー
街頭募金

9月

班別遠足

12月

クリスマス会

1月

元旦
送別マラソン
餅つき

2月

節分
あすなろ交歓会・
作品展

3月

ひなまつり
スキー教室
卒園旅行
卒業と進級を
祝う会

